

## 2 目指すべき姿

○ 学校に行っていない子どもたち

○ カッコ書きを別書きにする

○ 2の前文が大人目線の書き方なので、子ども目線を入れるべき

○ 社会全体として不遇な子をなくすようなキーワードを入れられるといい (ついていない)  
(居心地の悪さ)

○ どんな子どもにとっても居場所のあるまちという項目を追加する  
(学校以外の選好も)

○ 小さい取り組みができる場所

○ 取りこぼしをフォローすることを考える → 現実的かどうか

○ フレキシブルな対応ができるような内容を入れるかどうか

○ 不登校の子は居場所を分けたいと成り立たない。

○ 不登校の子に特化した居場所をつくりたい。

○ 全部が市の事業である必要はなく、地域の事業の連携につながる提案を考えている。

○ 民間で事業を行っている方を呼び上げてほしい。

・ したい  
・ いろいろ  
・ 非行など

## 目指すべき姿をめざすための方策

- 当事者の意見を聞く
- 場所の確保を市が行う。  
↳ 市の施設、空き家
- 他の自治体の先行事例を参考にする。
- 子どもの声を身近に聞ける人が実行できる  
よりの資金援助、継続資金
- 情報が集まっている場所の告知、横のつながり  
↳ 安全
- 移動手段、経路を確保する  
↳ 無料バスなど

例えば、

公園のルールを子ども達と一緒に作るようにする。

図書館が本を借りるだけの場所になっている。  
(長居できない)